

岡山県津山市における食料産業クラスター形成について

つやま新産業創出機構 近藤 浩幸氏

1 岡山県津山市の地域資源

岡山県津山市の取組みを紹介します。津山市は岡山県の北東部に位置しており、商品開発のキーワードでもあります。 「日本さくら百選」の鶴山公園には、(津山を訪れる年間 51 万人の観光客のうちの) 10 万人が桜の時期に集中します。それから B'z の稲葉さんの出身地でもあります。

特産品は、農産物では自然薯、新高なし、しょうが、ピオーネ、西条柿、そして棚田があります。農業地域ですが、中国自動車道が昭和 50 年に開通して内陸型の産業都市という側面も持ち合わせています。ちなみに岡山県津山市には 9 つの工業団地があります。

2 つやま新産業創出機構の取組み

2.1. つやま新産業創出機構

2008 年 5 月から「つやま新産業創出機構」という名前になりましたが、以前は「つやま新産業開発推進機構」という名前でした。現在、常駐職員 7 名で地域の産業振興を目指して活動しております。津山市の任意外郭団体になるわけですが、行政とは異なり「選択と集中」をキーワードに、やる気のある企業、または事業者をグループ化して新商品開発から最終的には販路開拓までサポートしていくことを目的に活動しております。1996 年に当機構はつくられ、これから説明させていただく食品分野については 1999 年からスタートし、今年で 9 年目になります。

2.2. 新産業推進スキーム

「津山食品産業クラスター」は加工業者のグループという位置づけで現在 20 社参加しています。「津山リーディングあぐりクラスター」は 3 年前にできた農業者グループを取りまとめたものです。近い将来この 2 つを合わせて「津山食料産業クラスター」にしていきたいということで動いております。その他、重点クラスターとして「津山ステンレスクラスター」には 23 社のステンレス加工企業が参加しており、ステンレス加工(サニタリー分野)という形で津山を「日本のステンレス加工基地」にしたいという思いもあって推進しております。あとは人材育成を重点的に推進しています。

3 つやま夢みのりグループの活動

「つやま夢みのりグループ」は、津山食品産業クラス

ター推進委員会のなかにある加工食品開発グループです。産・学・官・民の連携で、「民」には商品開発への参画としてパッケージデザイナーの専門家の方や、我々の活動サポートしていただく「つやま夢みのりサポーター」として一般消費者の方にも参加していただいています。「産」には企業 20 社のほか、設備提供メーカーなど、この会に所属していない企業にもコーディネートして商品開発をしていただきます。そこに「学」として大学との共同研究、そして我々が「官」としていろいろとサポートしていくという形で進めております。

定例会を毎月 1 回開催しております。(プロジェクト毎の会議とは別に) 現在 101 回を数えておりますが、この会是我々からの情報提供を基本としています。補助金や国の施策などの情報をわかりやすく説明して、ニーズがあれば個別に相談します。またバイヤーさんをお招きして我々の開発商品をプレゼンテーションしたり、専門家を招いて販売において重要なパッケージデザインを勉強したり、そして各社が作ったものを持ち寄って試食会をしたり、そのようなことを続けています。



つやま新産業創出機構 近藤 浩幸氏

4 これまでの開発商品

「津山らーめん」。ラーメンは全国各地にあるものですが、麺に山芋を練りこんで、こしのある舌触りのよい麺を開発しました。

「桜さば寿司」。もともとさば寿司は我々の食文化に根付いているものですが、津山をイメージしたいということで酢飯を紅麴で桜色・ピンク色にし、また桜の葉で桜の風味・香りも着けています。

「まっかなときめき」は、トマトのゼリーです。地元生産者の出荷できないB級品トマトを使用して、地元生産者と加工業者のコラボレーションからできた商品です。

「美作(みまさか)おめかし」は、酒蔵が、生産農家が愛情込めて作った果樹をおめかしして世に送り出すという形で商品開発している果樹リキュールのシリーズです。このあたりはパッケージデザインの勉強の成果が大いに出ていると思います。

このような商品をいろいろなプロジェクト体制をもって開発を進めております。とくに胚芽米は、新品種として開発された「はいいぶき」を昨年作付しまして、商品開発にも取組み、何とか製品化に結び付けようとしています。まだまだ製品化には至っておりませんが、黒豆や胚芽米等をテーマにプロジェクトを進めているところです。



津山らーめん(上)、桜さば寿司



つやま夢みのり開発商品

出展:地域事例情報交流会の発表資料



美作おめかし

5 「つやま夢みのり」運用ルール

まず、スローガンとして「楽しく！やさしく！ほっとする！」を掲げております。「楽しく」は、豊かな発想で楽しいもの作りということで、会に参加している人が、同じ方向に向かっていながら否定的な意見が出ると発言が少なくなってしまうので、そのあたりをもっと楽しく、まずは肯定をしてということでこのようなスローガンにしました。「やさしく」は、仲間に優しく・素材にやさしくということです。小さい企業の取組みのため、大企業のように大量にものを作ることができません。自分たちのできる体力、範囲のなかで、それも安易に添加物等を使うのではなくて素材本来の味を活かす商品開発をし、できるものだけを作っていきましょうという意味で、それを「素材にやさしく」とうたっております。最終的に安全・安心で消費者の方にほっとしていただくもの作りをやっていきましょう、ということで、「楽しく！やさ

しく！ほっとする！」というスローガンで活動しております。

そのスローガンを受けて、商品開発ポリシーとしては、

- ・素材本来の良さを活かし、美味しさにこだわります
- ・私たちが自信を持っておすすめします

の2つとなっています。

それから、我々独自の認証審査制度を設けております。以前はグループの関係者のみで認証するか、しないかという簡単な審査をしていたのですが、それでは消費者に対して自信が持てないということで、ちょうど3年目になりますが、外部の専門家(マーケティング、ブランディング、バイヤー等)7名の方を審査員とし、審査項目を11項目作り、「外部審査制度」を導入しました。新規で開発された商品のみならず、既存の商品に関しては認証期間2年とし更新制度を設け、お客様からいただいた声を商品に反映させ、販売実績に基づき商品ブラッシュアップをしていく制度としております。

2007年度は3つの商品、「プレノール黒鶏とりどりセット(燻製・ローストチキン・味噌漬け)」、「だんだん畑のゆず香さん(柚子リキュール)」、「いんぶらす健康茶(三効茶、国産杜仲茶の健康茶セット)」が認証商品として誕生しております。

6 イベント出展による各種PR

ものをつくるのに100%の力をかけて、売るところにマンパワーを残せていないということがローカルな企業によくある事例かと思えます。そこで我々は販路開拓のお手伝いをさせていただき、補助金を利用して展示会への出展をしています。展示会では我々の作った商品を評価していただくということで、消費者ニーズが我々の考えたニーズと合っているのかを調査し、販路開拓につなげます。

東京ビッグサイトで行われる展示会にも出展しています。最初は2006年2月の「東京ギフトショー」に6社が出展したところから始まり、昨年は「こだわり食品フェア」など、展示会には継続して出展しています。そのなかで「グルメ&ダイニングスタイルショー」では、フード部門で「桜さば寿司」が大賞受賞、キッチン&ダイニング部門で「踊る！たこ焼き器」が大賞受賞、ビバレッジ部門で「山の芋焼酎おしゃれボトル」が審査員特別賞受賞の3部門同時に我々の出した商品が入賞し、我々も驚きました。「踊る！たこ焼き器」は最初の型だけ整えていただければ、あとは自動的にたこ焼きが出来上がるというもので、先月くらいには「トレたま」(テレビ番組)で紹介され、「踊る！たこ焼き器」は今熱い商品です。もともとは開発メーカーが山芋入りのたこ焼き粉を販売促進するためのアイテムとしてつくったという経緯のものです。少しずつ我々の商品もご評価いただくようになりました。岡山県が進めております「六次化商品レベルアップ評価会」でも、晴れの国逸品賞をいただく

いう実績も出ています。

7 つやま夢みのリサポーター制度の活用

我々の商品をいかに広めていくかを考え、つくったのが「つやま夢みのリサポーター制度」です。まず地域の方に知っていただいて、その地域の方々から全国に口コミで発信していただくということを考えてつくった制度で、ちょうど2年が経ちました。現在270名程度の登録があります。昨年度の実績ではアンケート調査にご協力いただいたり、料理研究家を招いたイベントを開催して100名くらいのサポーターの方にお集まりいただき試食会をしたり、試食会の前には我々の開発メーカーが商品開発のプレゼンテーションをしたりしています。知って、味わって、そして広げていただくことを目的に「つやま夢みのリサポーター制度」を運営しています。ちなみにサポーターの内訳は津山市で65%、岡山県内で見ますと90%、あと10%が他府県からのご登録をいただいている状況です。現在は主にネットでの募集という形をとっています。

8 つやま夢みのリギフトセットの開発

我々が開発した商品は多岐にわたり総花的なところがあるのですが、ネット販売のお客様から「1社1社の商品を買うのは大変だからまとめて買えないのか」という意見をいただくようになりました。そこで昨年のお歳暮時期をターゲットに我々の開発商品を「つやま夢みのリギフトセット」という形でまとめて販売しました。あまり我々もPRできていないのですが、初回の販売実績では200セットを販売しました。1ヶ月間の申込受付期間をもち、一括発送日にメーカーが商品を持ち寄って皆で箱詰めをしたというイベント的なギフトセットの販売でした。カタログはパッケージデザインの先生に依頼して作りました。このように商品を開発するだけの連携ではなくて、販売する部分でも企業同士が連携するという実績もあります。



つやま夢みのりギフトセットのカタログ

出展: 地域事例情報交流会の発表資料

9 その他のマーケティング支援

マーケティング支援として我々が商品の紹介に向き、実際に味わっていただき、そのメーカーとバイヤーさんをマッチングする機会を設ける営業を飛び込みでかける場合もあります。

また、いろいろなところで我々の活動をPRしてこうと、チャンスがあれば我々の商品を置かせてもらおうと様々なアプローチをしています。

全国の書店で発売される2008年版の「るるぶ」にも、「つやま夢みのり」を津山発こだわりグルメブランドとして掲載していただき、PRに大きく貢献してくれているのではないかと思います。

10 今年度の取組み

これまでの実績は、現在26のつやま夢みのり認証商品で7,400万円程の売上です。認証商品以外の我々が開発に関与した商品ということになると約2億5,000万円になります。

今年度の取組みとしては、「農商工連携」、「広域連携」、「地域資源活用」、「マーケットイン」をキーワードにプロジェクト体制を強化し、集中的に実施します。最初からものを作ってどこかに売りに行くようなプロジェクトではなく、本当にこれを作ったら売れるのか、誰に売れるのか、どれくらいの市場があるのかを時間をかけて調べ、本当に売れるのではないかと考えたときに試作を始めて、ものを作りましょうという積極的なプロジェクトを進めていきます。その結果、ニーズにマッチした商品ができたり、安全・安心であったり、高付加価値、適正価格の商品開発、そして購入における利便性を考えた商品になると思っています。そして最終的にお客様の満足度を向上させて、リピーターを確保していきたいと考えております。

【お問い合わせ】

つやま新産業創出機構

〒708-0004 岡山県津山市山北 663

津山市役所東庁舎 1F

TEL 0868-24-0740 FAX 0868-24-0881

E-mail info@t-shinsan.com

URL <http://www.t-shinsan.com> (つやま新産業創出機構)

<http://www.yumemimori.com> (つやま夢みのり WEB)